

2026年1月11日(日)

押立図書館 どんど焼きおはなし会

1月11日(日)、押立文化センターのどんど焼き行事において、おはなし会を開催しました。会場の多摩川緑地(押立地区)に立てられた塞の神の中での、特別なおはなし会です。とても風の強い日でしたが、たくさんの方が来てくださいました。



開始時刻よりも早く、子どもたちが集まってくれたので、冬にちなんだなぞなぞを楽しみながら、おはなし会のはじまりを待ちました。問題を言い終わる前に声をあげてくれる強者もたくさんいました。

さて、いよいよおはなし会のはじまりです。最初のおはなしは、「文福茶釜」。「茶釜」とは、お茶をたてる時に使う、お湯をわかす釜のことです。おしょうさんにかわいがってもらっていたたぬきが、その恩返しにと茶釜に化けて売られていくのですが、その行く末やいかに...

次のおはなしは、「ぼたもちくわーん」という、府中に伝わる昔話です。とんちのきいた小僧さんと、とぼけたおしょうさんのかけあいがおもしろいおはなしでした。

そして、最後のおはなしは「おむすびころころ」です。「おむすび ころころ すっとんとん」という声に誘われ、おばあさんがたどりついたのは、ねずみの御殿。長いおはなしでしたが、みなさん最後まで楽しみながら聞いてくださいました。



囲炉裏の火が爆ぜる中、とてもすてきなおはなし会となりました。参加された方々は、その雰囲気も含めて、おはなしの世界を楽しまれている様子でした。



～当日のプログラム～

「なぞなぞえほん」(福音館書店)より、なぞなぞはじまるよ

🏮 ろうそく ぱっ

おはなし「文福茶釜」

おはなし「ぼたもちくわーん」

もちっこやいて

おはなし「おむすびころころ」

🏮 ろうそく ふっ